

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	8	学校名	沼津特別支援学校	記載者	佐藤公平
------	---	-----	----------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
安全	人権教育年間計画の着実な遂行	職員は、毎月の人権テーマを意識しながら児童生徒、職員に対応するとともに、取組について振り返りをしている	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 今の取り組みを自信をもって継続してほしい 運営協議委員としては評価する材料がないので自己評価を尊重する 取組を知りたい 子どもの人権がすべてである 毎月のテーマを決めて対応している取組が素晴らしい 人権テーマを意識し、日々100%を目指すことは大切だ 職員の意識が高い 「人権とは何か」捉え方や幅の広さに戸惑っている人もいるのではないか
		職員は、日々児童生徒や同僚に、相手の人権を尊重した対応をしている	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 相手の事を思うためには、心にゆとりが無いと難しい(時間的な余裕も) 感情的にならないで対応してほしい 関係者としては丁寧に対応していると感じる。職員の評価がBとのことだが、説明不足や行き違いがあると感じる
		職員は教室内の教材や教具、掲示物等の配置を整理し、学習環境を整えている	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓されていると感じる 分かりやすく掲示している
	命を守る体制強化と行動力の育成	職員は、けがや事故等の未然防止の観点から定期的な安全点検や授業準備を実施し、適時対応している	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 予測できない事故等もあると思うがいろいろな視点で検討されていると感じる 暑さ対策を 整理整頓されていると感じる

様式第5号

安全	命を守る体制強化と行動力の育成	職員は、食育の観点（季節・食材・衛生・マナー・感謝・フードロス等）を意識し、日々の指導に取り組んでいる	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・食材費の高騰等もあるがおいしい給食の提供に感謝 ・マニュアル等の見直しを行いながら日々の指導に意欲的に取り組んでいる
		職員は、PTA 総会や防災だより等を通じて福祉避難所についての情報を保護者に発信している	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な設置目的を詳しく理解できるように伝達する ・福祉避難所として初年度なのでPTA主導としても何をしたらいいのかを整理しないと発信が難しいのかも ・情報共有においては、家庭のアンテナの高さも要因としてある ・繰り返しいろいろな機会をつかみながら発信していく ・学校全体としての取り組みをお願いしたい ・保護者との情報の共有を図る ・学区が広域ゆえに困難さがあるとされる ・各居住地の避難所についての情報提供が必要
		職員と児童生徒は、計画された訓練に参加し、発災時や緊急時に必要な行動をしている	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を継続してほしい ・飽きてしまわないように ・定期的な訓練で意識を高めつつ実践的な内容にカスタマイズする
専門	教育的ニーズの的確な把握とそれに応える自立活動の実践	職員は、児童生徒の自立活動の目標と、今もっている力や得意なことを生かした手立てを、面談等で保護者に伝えている	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中の大切なコミュニケーションの一つ ・12年間のつながりを意識した取り組みは、子どもにとって実りあると思われる ・面談等で保護者と共有されており、保護者として成長を感じられるとうれしいと思う ・得意なことを広げることで苦手なものが少なくなるとよい
	つながりのある支援と指導の充実	職員は、授業を行う意義や時期について語り合い、保護者に伝えている（お便りも含む）	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり取り組んでいると感じる

専門	つながりのある支援と指導の充実	職員は、端末の効果的な使い方について情報交換をしながら授業を行っている	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・端末の活用については日本全体の課題である ・メリットとデメリットを把握しながら使う ・授業を円滑に進める為にはタブレットは有効だと思いますが子供たちの考える力になるように運用できたら理想 ・職員の対応レベルを合わせる ・「効果的に」の捉え方に幅があると思う
		職員は、児童生徒が持っている力や得意なことを生かして授業に取り組んでいる	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個のケースによって様々な対応が求められる ・専門職として研さんを積みながら子どもと共に学んでほしい ・個性がそれぞれ違う子供たちなので大変だと思う ・職員同士で切磋琢磨していただける事を望む ・リフレーミング的な関りが大切
連携	自立と輝きに向けた発信と協働の充実	職員は、学校が地域の協力を得ながら交流活動や職場実習等の学習に取り組んでいることを掲示板や懇談会、お便り等を通じて保護者に周知している	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の自立と輝きに向けて小学部から高等部につながる地域社会との協働学習を丁寧に実践していると感じる ・丁寧に対応いただいている ・運営協議会の委員からの情報を受けて、活発に行われていると感じる
		学校は、適時支援会議を行い、支援の方針や役割分担について確認しながら対応している	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なケースにおいて適宜情報共有を行わせていただいた ・地域支援者として助かった ・見方や価値観のすり合わせは大切
	つながりの精選と地域への貢献	職員は、インクルーシブの推進につながることを意識して、各種交流活動に取り組んでいる	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な実践の継続が理解とあたたかなつながりある社会を作っていくと思う ・障害がない子との交流は必要と思うが実行は難しい ・意識することが大切だと思う ・特別支援学校におけるインクルーシブ推進は難しい面もあると考える ・スキルアップが必要 ・固定概念にとらわれずに柔軟な活動を望む ・概念が広いので具体的場面に落とし込む共通理解が必要

様式第5号

連携	つながりの精選と地域への貢献	職員は、交流等の活動で、児童生徒の「得意な学び方」を生かせるように準備や支援をしている	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に対応いただいている ・「得意な学び方」に新しい気付きや発見が散りばめられているのだと思う
		職員は、地域貢献や地域資源を活用した学習において、目的や目標を明確にして取り組んでいる	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に学校の活動を知らせることが必要 ・丁寧に対応いただいている ・地域の情報を集めていると思う
チーム	誇りとやりがいを持つ職場環境の充実	職員は、アサーティブの考えをチーム力の維持向上に役立てている	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長と幸せな未来を願い一緒に働いている仲間と関係を大切にしている ・グループワークの場を多くして意見を言いやすくしている ・アサーティブの考え方は理想が高く難しい ・外部からは熱心に取り組んでいると感じる ・レベル合わせが難しい ・チームでの対応を ・広い年代の集まりなので中々難しい所があると思う ・目指す目標は高く ・温度差はないのか
		職員は、時間外勤務時間の上限を意識しながら勤務している	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デーを設け、残業しない習慣を身につけたい ・どの職場でも課題である ・熱心な教育ゆえに時間外が多くなると思う ・うまくAI等を活用しながら継続する ・時間の余裕が心の余裕になると思うので勤務時間の短縮は大事な事だと思う
		職員は、計画的に物品等を購入し、適正に予算執行している	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり行われている
		学校は、教育活動の様子をホームページやインスタグラム（試行）で適時発信している	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの仕事に自信と誇りを持てば、いつでも自身の教育を発信できると思う ・適宜親しみやすい情報を発信していると感じる ・予定等これからの計画を前もって発信してはどうか ・普段の学校生活を知る機会が

様式第5号

					<p>少ないので情報発信はなるべく多くおこなえたら保護者や地域の人とのつながりになりそう</p> <ul style="list-style-type: none">・地域を耕すためには情報発信は大切である
--	--	--	--	--	---